

平成 25 年

衛 生 統 計 年 報

第 66 号

宮崎県福祉保健部



## 利 用 者 の た め に

- 1 本書の内容は、人口動態統計、衛生行政報告例、医療施設調査、病院報告その他各種衛生統計の資料並びに宮崎県の衛生行政についての事業実績を収録したものである。
- 2 人口動態統計のうち、出生、死亡及び死産は、平成25年中に発生し届け出された日本人の日本における事件を住所地別に集計したものである。
- 3 婚姻及び離婚は、平成25年中に届け出された日本人の日本における事件を、婚姻については夫の住所地別に、離婚は別居する前の住所地別にそれぞれ集計したものである。

### 4 用語の解説

- (1) 自然増加：出生から死亡を減じたもの
- (2) 乳児死：生後1年未満の死亡
- (3) 新生児死：生後4週未満の死亡
- (4) 早期新生児死：生後1週未満の死亡
- (5) 死産：妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産  
※死児：出産後において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないもの
- (6) 自然死産と人工死産：人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。  
なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。
  - (1) 胎児を出生させることを目的とした場合
  - (2) 母体内的胎児が生死不明か、又は死亡している場合
- (7) 周産期死：妊娠満22週（154日）以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの。

5 比率算出に用いた基礎人口は、平成25年10月1日現在の推計人口である。

6 本書に用いた各比率の算出方法は、次のとおりである。

$$(1) \text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{1年間の事件数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000 \text{ (または } 100,000\text{)}$$
$$(2) \text{自然増加率} = \frac{\text{1年間の出生数} - \text{1年間の死亡数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$
$$(3) \text{乳児死・新生児死・早期新生児死率} = \frac{\text{1年間の事件数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000 \text{ (または } 100,000\text{)}$$
$$(4) \text{周産期死亡率} = \frac{\text{1年間の周産期死亡数}}{\text{1年間の出生数} + \text{妊娠満22週以後の死産}} \times 1,000$$

$$(5) \text{死産率(総数・自然・人工)} = \frac{\text{1年間の死産数(総数・自然・人工)}}{\text{1年間の出産数(総数)}} \times 1,000$$

出産数とは出生数と死産数を加えたものである。

$$(6) \text{病床利用率} = \frac{\text{在院患者1日当たり平均数}}{\text{6月末病床数}} \times 100$$
$$(7) \text{平均在院日数} = \frac{\text{年(月)間の在院患者延数}}{1/2 \times [\text{年(月)間の新入院患者数} + \text{年(月)間の退院患者数}]}$$

7 統計表の符号の用法は、次のとおりである。

- 0.0 比率が微少(0.05未満)の場合
- 該当数字のない場合
- … 計数不明の場合
- ・ 統計項目の有りえない場合

8 本書の作成にあたっては、平成25年人口動態調査の調査票情報を利用した。

## 目 次

### 第1章 保健衛生の主要指標、人口

1－表－1 主要指標	1
1－表－2 性別人口	3
人口の推移・年次別 (図1－1, 図1－2)	4

### 第2章 人口動態統計

人口動態事象の概要	7
人口動態、実数・率の前年比較 (宮崎県及び全国)	(表 1) 8
出生率、死亡率年次別推移 (昭和40年以降)	(図 1) 9
死産率 (自然・人工別) 年次別推移 ("")	(図 2) 9
乳児・新生児・早期新生児死亡率年次別推移 ("")	(図 3) 9
婚姻率年次別推移 ("")	(図 4) 9
離婚率年次別推移 ("")	(図 5) 9
出生順位別出生数百分率	(図 6) 10
母の年齢階級別出生割合	(図 7) 10
施設の内外別出生割合	(表 2) 11
年齢別にみた死亡率 (人口10万対)	(表 3) 12
生存期間別にみた乳児死亡百分率	(図 8) 13
死亡、乳児死亡、新生児死亡、死産、周産期死亡率の九州各県比較	(表 4) 13
周産期死亡率 (出産千対)	(表 5) 14
死産率の年次推移 (出産千対)	(表 6) 14
婚姻・平均初婚年齢・初婚者数・結婚生活に入る前の世帯の主な仕事	(表 7) 15
離婚件数、種類、同居期間	(表 8) 16
人口動態の年間発生件数、率 (宮崎県)	(表 9) 16
人口動態の年間発生件数、率 (全国)	(表 10) 17
妊娠期間別自然・人工死産数と割合 (百分率)	(表 11) 18
性別にみた出生時胎児体重分布の年次比較 (男・女別)	(表 12) 18
年次別周産期死亡及び新生児死亡、妊産婦死亡数・率 (宮崎県)	(表 13) 20
自然-人工、妊娠期間、母の年齢階級別にみた死産数	(表 14) 21
人工妊娠中絶件数	(表 15) 22
不妊手術件数	(表 16) 23

(統 計 表)

2-表- 1	年次（昭和39年～平成25年）別人口動態実数及び率	26
2-表- 2	出生数（月・性・市町村別）	28
2-表- 3	出生数（母の年齢階級・市町村別）	30
2-表- 4	出生数（出生順位・市町村別）	31
2-表- 5	出生児の体重（妊娠週数・市町村別）（男）	32
2-表- 6	出生児の体重（妊娠週数・市町村別）（女）	40
2-表- 7	出生数（箇所・立会者・市町村別）	48
2-表- 8	死亡数（月・性・市町村別）	50
2-表- 9	乳児死亡数（月・性・市町村別）	52
2-表- 10	死亡数（箇所・市町村別）	54
2-表- 11	死産数（月・自然・人工・市町村別）	55
2-表- 12	死産数（自然・人工・妊娠期間）・周産期死亡・低体重児出生（市町村別）	58
2-表- 13	婚姻件数（月・市町村別）	60
2-表- 14	離婚件数（月・市町村別）	62
2-表- 15	人口動態実数及び率（市町村別）	64
2-表- 16	人口動態の年次別推移（全国）実数及び率	68
2-表- 17	乳児死亡数（生存期間・性・市町村別）	72
2-表- 18	都道府県別人口動態率及び順位	74

第3章 死因統計

死因の概況	77
主要死因別死亡数・死亡率・死亡割合（宮崎県）	（表 1） 77
主要死因別死亡数・死亡率・死亡割合（全国）	（表 2） 78
悪性新生物部位別死亡数	（表 3） 79
6大死因による死亡率（人口10万対）の年次別推移	（図 1） 80

(統 計 表)

3-表- 1	年次別5大死因の推移（人口10万対）	83
3-表- 2	死因別死亡数・死亡率（人口10万対）対前年比較	84
3-表- 3	年次（昭和39年～平成25年）別主要死因死亡数・率（人口10万対）	88
3-表- 4	悪性新生物による死亡数及び死亡率・性・年齢（5歳階級）・年次別	90
3-表- 5	心疾患による死亡数及び死亡率・性・年齢（5歳階級）・年次別	92
3-表- 6	脳血管疾患による死亡数及び死亡率・性・年齢（5歳階級）・年次別	94
3-表- 7	死因別乳児死亡数・死亡率（出生千対）対前年比較	96

3-表- 8	死亡数（死因・性・市町村別）	98
3-表- 9	死亡数（年齢階級・性・市町村別）	122
3-表-10	脳血管疾患による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	126
3-表-11	悪性新生物による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	130
3-表-12	心疾患による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	134
3-表-13	肺炎による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	138
3-表-14	老衰による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	142
3-表-15	結核による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	144
3-表-16	高血圧性疾患による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	148
3-表-17	自殺による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	152
3-表-18	肝疾患による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	156
3-表-19	交通事故による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	160
3-表-20	糖尿病による死亡数（年齢階級・性・市町村別）	164
3-表-21	乳児死亡数（死因・性・市町村別）	168
3-表-22	死亡数（月・性・死因別）	180
3-表-23	乳児死亡数（月・性・死因別）	186
3-表-24	選択死因別死亡数（性・年齢階級別）	188

#### 第4章 衛生行政報告例

4-3表- 1 (1)	精神障害者鑑定	195
4-3表- 1 (2)	精神障害者措置入院・仮退院状況	195
4-3表- 1 (3)	医療保護入院・応急入院届出状況	195
4-3表- 3	栄養士免許交付	196
4-3表- 4	調理師免許交付	196
4-3表- 5	給食施設	196
4-3表- 6	衛生検査(1)	197
4-3表- 8 (1)	建築物環境衛生	199
4-3表- 8 (2)	建築物環境衛生に係る登録営業所	199
4-3表- 9 (2)	墓地、火葬場及び納骨堂	199
4-3表- 9 (3)	埋葬及び火葬	199
4-3表- 9 (1)	興行場	199
4-3表-10	ホテル営業、旅館営業、簡易宿所営業及び下宿営業	200
4-3表-11	公衆浴場	200
4-3表-12	理容所	200

4-3表-13	美 容 所	200
4-3表-14	クリーニング	201
4-3表-15(1)	許可を要する食品関係営業施設	202
4-3表-15(2)	許可を要しない食品関係営業施設	204
4-3表-16	食品衛生管理者	205
4-3表-17	製菓衛生師免許交付状況	206
4-3表-18	乳の収去試験（牛乳）	206
4-3表-19	乳 处 理 量	206
4-3表-38	薬 事 監 視	207
4-3表-39	毒物劇物営業取締成績	208

## 第5章 医 療

病院及び病床数の推移（表1）	210	
保健所別病院・病床数（表2）	210	
年次別医療関係者数（表3）	211	
保健所別にみた医師、歯科医師、薬剤師数（平成24年12月末日現在）（表4）	212	
(統 計 表)		
5-表-1	市町村別医療機関等分布状況	215
5-表-2	病院の種類別・経営主体別利用状況	217
5-表-3	市町村別薬事業態表	219
5-表-4	市町村別医療技術者分布状況	221

## 参 考 資 料

表1	都道府県別にみた合計特殊出生率の年次推移	225
表2	平成22年地域別生命表－主な年齢の平均余命	226
表3	平均寿命の推移	228
表4	平成元年～25年簡易生命表（平均余命）	230